

教 育 長 様

代表者 校園名 : 滝川小学校
 校園長名 : 民辻 善昭 公印
 電話 : 6351-1582 FAX : 6351-5502
 申請者 校園名 : 阿倍野小学校
 職名・名前 : 教諭・木村 拓也
 電話 : 6622-0526 FAX : 6622-9041
 代表者校園 事務職員名 : 立木 みどり

平成 29 年度 「がんばる先生支援」個人・グループ研究 申請書

◇ 本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1 研究コース : いずれかを○で囲んでください。

グループ研究 A コース • グループ研究 B コースいずれかを○で囲んでください。 新規研究（1年目） 繼続研究 : (2 年目 3 年目)

2 研究テーマ

自然に働きかけ、見出した問い合わせを他者と関わり合いながら、科学的に解決していく子どもの育成

◆ 研究内容のキーワード : 研究の内容をキーワードで書いてください。 (【例】学力向上、体力向上等)

理科教育、学力向上、教員の資質向上、新学習指導要領、主体的・協働的な問題解決活動、対話的な学び、指導方法の改善、研修会の実施

3 研究目的 : テーマに合致した目的を端的に書いてください。

○ 新学習指導要領に対応した理科学習指導法の研究に取り組む。市理科部が従来より取り組んできた、子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習を基盤に、特に「対話的な学び」の学習場面を充実させた授業実践により、理科の学力向上を図る。
 ○ 各種研修会、公開授業、研究報告、討議会を行い、大阪市小学校教員の資質向上と理科指導力向上を図る。

4 研究内容 : 繼続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。

- ・理科授業改善のための実践研究を行う。「対話的な学び」の学習場面を充実させた指導案を作成し、2月に、公開授業・研究発表・討議・講演を行い、成果を広く発信する。
- ・実技研修・施設見学・素材研究・教材研究等の研修会を実施する。
- ・理科における資質・能力を明らかにする。
- ・自分の考えを表現し、互いに情報交換をして考えを高め合うといった「対話的な学び」となる学習場面の効果的な設定について研究を進める。

5 活動計画 : 日程など、研究の課程がわかるように詳細に記載してください。

5 月	研究組織編成、各部研究計画立案、研究の具体的方策策定 研究全体会
6 月	実験実技研修会 公開授業単元決定、評価計画策定
7 月	施設見学会実施 指導案作成開始
8 月	素材研究・教材研究 研修会

指導案検討会（中学年、高学年）

研究発表会会場校との打ち合わせ会

9月 児童自由研究優秀作品検討会

研究全体会

10月 授業研究会・討議会（中学年、高学年）

11月 実験実技研修会

総合研究発表会指導案検討会（中学年、高学年）

12月 研究全体会

1月 総合研究大会事前授業実施、指導資料の作成、発表リハーサル

2月2日 総合研究発表会（指導資料配布、開授業・研究発表・討議・講演）

3月 本年度のまとめの紀要「大阪の理科」の発行、データ配信

6 見込まれる成果：学力向上をはじめとした大阪市教育振興基本計画に示されている、子どもの様々な力の向上、教員の指導力の向上をふまえ端的に記載してください。

- ・理科授業の改善のための実践的研究の成果を公開授業・討議会・研究発表会等の機会を設けて発信することにより、大阪市の小学校教員の理科教育に対する関心が高まるとともに、理科指導力が向上する。
- ・教員向けの指導資料の作成と配布により、日々の授業実践の質が向上する。
- ・評価方法の研究と情報発信により、日々の教育実践の質が向上する。
- ・教員向けの各種研修会の実施により大阪市の小学校教員の理科教育に対する関心が高まり、理科に対する苦手意識が減少するとともに、資質が向上し、指導力が向上する。

7 成果の検証方法：客観的な指標により、必ず数値で示すことができる方法で記述する。

- ・公開授業に参加した教員へのアンケート「本日の授業で、子どもが主体的な学びができていたと思いますか」「本日の授業で、子どもが協働的な学びができていたと思いますか」「本日の授業は、今後の理科の授業を行う上で、参考になったと思いますか」の項目で、「とても思う」「少し思う」の値を90%以上にする。
- ・研究発表会に参加した教員へのアンケート「本日の研究発表は、今後の理科の授業を行う上で、参考になったと思いますか」の項目で、「とても思う」「少し思う」の値を90%以上にする。
- ・教員向けの各種研修会に参加した教員へのアンケートで、「とても思う」「少し思う」の値を90%以上にする。
- ・会場校の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の項目で、「とても思う」「少し思う」の値を80%以上にする。
- ・会場校の学力経年調査において、3～6学年の理科の標準化得点を昨年度よりも1ポイント上げる。

8 研究発表の日程・場所（予定）

日程： 平成29年2月2日（金）

場所：滝川小学校

9 代表校園長のコメント

本研究は、本市小学校理科に関する児童の学力向上と教員の資質向上とを目指している。研究にあたっては、全国学力・学習状況調査やPISA調査等の結果を受け、子どもが自然の中から問題を見つけ自らの思考をはたらかせ、友達と協働しながら問題解決に積極的に取り組むことが重要課題ととらえている。

特に着目しているのは「対話的な学び」であり、自分の考えをしっかりと持ち、わかりやすく表現・発信し合い、学習集団の中で考えを深め合いながら学習を進めていくといった、主体的・協働的な学びの姿は、子どもたちがこれから世の中を力強く生きぬくために、ぜひ身に着けてほしいことである。

また、児童の学力向上のためには児童を指導する教員の資質向上が不可欠であるが、経験の浅い教員の増加や理科を苦手とする教員が多いことは大きな問題である。従って、実技研修等の各種研修会を企画・開催し、教員の理科指導力向上を目指そうとする本研究は、非常に有意義であると考える。

ぜひとも、ご支援をいただきたいと思います。

上記の内容を原則としてA4判2ページで作成し、平成29年4月21日までに大阪市教育センター「がんばる支援」担当まで提出してください。